

発行人 / 学園町自治会会長・荻野晶子
企画編集 / 学園町自治会広報委員会
編集長 / 浜名 純
投稿・連絡先 / 学園町1丁目14番地31号
電話 / 090-6005-7887

学園町 かわら版

購読無料・各戸配布 / 隔月刊行

116
号



学園町HPは
こちらのQR
コードから

学園町誕生100年記念イベント 「つなぐ学園町の暮らしと未来」 自由学園緑ヶ丘校舎で開催

学園町自治会主催の学園町誕生100年記念イベント第3弾が、11月23日(日)祝、自由学園緑ヶ丘校舎(旧緑ヶ丘幼稚園)で開かれました。「つなぐ学園町の暮らしと未来」と題し、東久留米市とDOCOMOMO Japanに後援をいただきました。

住民の方々がご家庭の植物・種を持ち寄って、交流しながら交換する「苗と種の交換会」、「子ども向けチュウリップ球根植え体験」、「地産地消!新鮮野菜販売」、「フリーマーケット」など内容も盛りだくさん。さらに東京第一友の会南沢方面・学園町グループがカフェを開店し、コーヒーや手作りケーキを提供するとともに、友の会の歴史と活動について展示しました。



ちよつぷり肌寒さを感じる日でしたが、朝から午後3時まで近隣の住民らが三々五々訪れてイベントを楽しみました。チュウリップ球根植え体験は、未就学児と小学生が対象、チュウリップの鉢植えが終わると空に浮かぶヘリウム入りの風船をプレゼントされました。その風船を片手に持つて園庭を元気に走る姿が印象的でした。野菜販売では、ナス、キュウリ、大根、ネギ、それに殻付きと殻のついていないピーナツ(いづれも生)などがたくさん並びましたが、すべて完売となりました。富田竜馬東久留米市長や浅海希東久留米市環境政策課長も駆けつけてくれました。住民との交流など長時間にわたって園庭での一日を過ごしていただきました。



学園町見学ツアー ～建築と庭が語るまち～



学園町誕生100周年記念イベントのもう一つの目玉が「学園町見学ツアー」建築と庭が語るまち」です。当初30名の募集予定でしたが、多くの参加申し込みがあったため、午前と午後2グループずつに分かれてツアーを実施、計37組48名が参加しました。

玄田悠大さん(DOCOMOMO Japan 事務局局長、東京大学大学院都市デザイン研究室)、平井充さん(メグロ建築研究所二級建築士事務所代表)、荒昌史さん(学園町自治会運営委員、HITOTOWA代表)の3人がガイド役となり、DOCOMOMO Japanの選定邸宅である町田邸(旧小宮一郎邸、西東京市)、羽仁峰生邸(学園町)、芦澤邸(学園町)を巡り、荻野邸(学園町)のお庭を散策しました。また、自由学園の高等部を卒業し、現在は他大学で建築を学んでいる菅さんが、受付・誘導サポートをしてくれました。

ところで DOCOMOMO は、モダン・ムーブメント(近代運動)の推進に寄与した建築の歴史的、文化的重要性を訴え、その記録と現存建物の保存に関する活動を展開する国際的学術組

織。日本支部の DOCOMOMO Japan は2000年に発足、重要な活動の一つが日本におけるモダン・ムーブメントの建築の代表的作品を選定することです。旧小宮一郎邸はフランク・ロイド・ライトの弟子、遠藤新の設計、芦澤邸は遠藤新の長男の遠藤栄、羽仁峰生邸は榮の弟の遠藤陶の設計です。

玄田さんは「学園町のこういった場所にはその特徴や歴史が表れているのか、まち歩きの中で都度立ち止まりながら説明することができました。左近邸の前には土壁が残っていること、田中富士雄邸の前では、共同炊事が可能な空間設計を遠藤新が作ったことなどもお話ししました」と話し、荒さんは、「学園町憲章の説明を行い、住民による豊かなコミュニケーションが維持継承されてきたことをお伝えしました。まちの変化に寂しさを感じている参加者も多かった印象です。また、家の中を見学することができ、南澤学園町の歴史の希少性を感じていただけたと思います」と語ってくれました。家の持ち主さんからも貴重なお話を伺うことができ、持



ち主さんも「こんなに熱心に見学してくれて、建物も喜んでくださいます。わ」とおっしゃっていただきました。

「あしたのまち・くらしづくり」で 学園町自治会が振興奨励賞を受賞

独自の発想により全国各地で地域づくり・くらしづくり・ひとづくりの活動に取り組んでいる地域活動団体等を表彰する「令和7年度あしたのまち・くらしづくり活動賞」(主催：公益財団法人あしたの日本を創る協会、読売新聞東京本社、日本放送協会)で、学園町自治会が振興奨励賞を受賞しました。

応募総数223団体の中から選ばれたもので、11月1日、市ヶ谷のホテルグランドヒル市ヶ谷で行われた表彰式に荻野会長、浜名副会長、水沼運営委員が出席しました。

表彰式では、柳澤泰洋・内閣府



荻野会長(右)と柳澤内閣府室長

大臣官房総務課制度室長が「地域社会が直面している課題に対処するため、それぞれの地域においてさまざまな工夫を凝らし、世代を超えて多様な方々と協同しながら活動に力を尽してこられた様子が伝わってきました。こういった活動の一層の普及促進のためには、独自の発想で大きな成果を上げた方々の取り組みを積極的に共有していただくことが、とても重要だと考えております」とあいさつ。

また、審査委員長の室田昌子・東京都市大学名誉教授は「受賞をきっかけとして、活動のさらなる展開、飛躍に繋がっていただけると大変ありがたいと思います。また社会にとっても大変に重要なことであると考えています」と述べました。

学園町自治会の受賞タイトルは、「学園町の自然と景観を守り育て、次代へつなぐ住民主体のまちづくり」。武蔵野の自然と歴史ある景観を守り、世代を超えて安心して暮らせる住宅地を維持するために、憲章の運用、地区計画の検討、講演会や勉強会、緑化活動、住民交流の場づくりを行っていること。住民主体でまちの価値を高め、次代に引き継ぐ

取り組みを進めていることが評価されました。

この振興奨励賞は、北は北海道から南は鹿児島までの20団体を受賞。そのジャンルは「子育て」「商店街活性化」「就学支援」「自主防災組織」と多岐にわたっています。が、「緑豊かな住環境の維持」といったテーマは、ほとんどありませんでした。

南中で地域合同防災訓練 生徒が煙や起震車を体験

地域合同防災訓練が11月7日、東久留米市立南中学校で開かれました。午後1時25分から3時15分まで5、6時間目の事業時間を利用して1、2年生が参加。東久留米消防署の署員7名とボランティア3名が指導に当たり、地震や火災が起きた時の対応について学びました。AEDを使った心肺蘇生の実験や、煙体験、起震車体験、消火器を使って放水する初期消火訓練と盛りだくさんの内容でした。

煙体験では煙を充満させたテントの中をくぐり抜けました。体を低くして床を這うように進むのが大切ということです。出口に出てきた生徒は「本当に前が見えなくて怖かった」、「思った以上にテントの中が長く感じた」と話していました。また、消火訓練では実際に消火器を使い、的に向かって消火訓練を行う実践練習を行いました。

せんでした。

さらに、内閣総理大臣賞をはじめ、受賞団体のほとんどは、NPO、NGO、株式会社など「まちづくり」を「ビジネス」としている組織がほとんど。非営利の組織は、学園町自治会のほか、京都市の「六原まちづくり委員会」などごく一部でした。



つが参加して起震車で、震度6弱の揺れを体験しました。震度6弱を体験した生徒たちは「予想以上に揺れが大きくて、しっかり掴まっていけないと体がすぐに飛ばされてしまいそうでした。」「寝ているときに地震が来たら、起き上がれないと聞いて、家族で防災対策を話し合いたかった」と感想を述べていました。最後に東久留米消防署員から、災害発生時の中学生の役割についてと訓練の重要性などについて講話がありました。防災担当の藤城先生はこの日の訓練について「消

防署の方から丁寧に説明をしていただき、生徒たちは真剣に訓練に取り組むことができました。非常に良い機会となりました」と話していました。

自治会の防災訓練を実施しました

10月26日(日曜日)午前9時に東久留米市全域に鳴った防災行政無線のサイレンに合わせ各家庭でシェイクアウト訓練(地震の際の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練)を実施しました。

その後、自治会で配っている「安否確認タグ」を玄関先に掲げ各組長がカウントしたのち、全50組中42組が自治会事務局に報告してくれました。

「サイレンの音が聞こえなかった」という意見が多く、こちらは次回の是正事項として市の防災防犯課へ報告します。当日は雨模様だったにも関わらず大変多くの皆さまに御参加頂き、誠にありがとうございました。



学園町のスーパー爺さん

山川丈一さん 逝く 浜名純

山川丈一さんが亡くなった。90歳を過ぎても白髪類ひげをなびかせて電動自転車で町内を疾走していた、人呼んで「スーパー爺さん」。間もなく99歳という11月16日に息を引き取った。静かな大往生だったという。

山川さんの経歴を駆け足で追ってみよう。先祖は彦根藩士。祖父は陸軍の指揮官だったが、長男の廣一さん（山川さんの父）は軍人を嫌い、京都帝国大学で法律を学んだ。しかし、祖父の軍人になれという遺言に負けて海軍に入った。廣一さんは開業医の娘・ときさんと結婚。大正天皇が亡くなった翌日、ときさんは急に産気づき、男の子を産んだ。山川丈一さんである。だから、山川さんは大正から昭和に変わった日（12月26日）に生まれた。生まれていきさつからしていかにも山川さんらしいで

はないか。

父親の頻繁な転勤で小学校は5回変わる。どこの土地へ移ってもその土地の方言をすぐに覚えてしまうという才能が発達した。後年、英語、ドイツ語、スペイン語を自由に操る才能はこの頃培われたのだという。広島県江田島の小学校を卒業して自由学園に入学。終戦の翌年、自由学園を卒業するが、自由学園に残ることになる。栃木県那須の自由学園農場で働いた。農作業に使うスキヤクワの修理のため村の鍛冶屋にそれらを持ち込んで仕事を手伝ううち、鍛冶屋の仕事をマスターしてしまっ

た。鍛冶屋の親方に見込まれ、「娘と結婚して養子になり、鍛冶屋を継いでくれ」と懇願される。いい話だが丁重に断った。その頃、夢のような話に深入りしていった。世界連邦国家建設の運動が世界規模で広がっており、日本にもその組織ができたというので東京に様子を見に行った。御

徒町駅近くの寿司屋の板の間が事務所になっており、そこで働くことにした。だが、1960年前後、キリスト教社会運動家として著名な賀川豊彦や、平凡社の社長・下中弥三郎といった有力スポンサーが相次いで亡くなり、活動が衰退。山川さんも食い詰めたので、足を洗って会社員となる。34歳になっていた。

まず、世界中にテトラポッドの特許を持つフランスの研究所の日本代理店に勤めた。テトラポッドとは防波堤の外側に投入する波消しブロックだ。仕事は文書の翻訳だったが、ある日、山川さんが独自に防波堤の設計図を作ったらフランスの研究所とほとんど違わないものができてしまった。それによっていくつかの防波堤が作られたが、いまだに山川さんの設計した防波堤で事故が起きたことは一度もないという。この時代は、山川さんにとって思想的冒険時代でもあった。ロマン・ローランの全集を読み漁り、鶴見俊介らが始めた思想の科学研究会に関わった。

さて、テトラポッドのあとは、スイス系の機械商社に入りドイツで生活する。間もなくドイツ語を使ってビヤホールで冗談を言い交すまでになる。この商社には10年近く在籍、イタリヤ、フランス、スウェーデンに何回も行かされた。長くて3か月の滞在だが、小学生の時と同じくなんとなくその国の言葉をしゃべれるようになった。

てしまう。

そして、最後が世界的に知られたスイスの錠前企業KABAである。日本との合弁会社が設立され、技術移転の責任者となった。日本KABAは大発展し、山川さんは定年まで勤めた。

定年後は、学園町のために尽くし、自治会の会長を務めた。10年以上前には盛大な生前葬を挙げた。

荻野晶子現会長は、「自治会会長を引き受けてから、山川さんの敷いた線路の上をずっと走っていることを痛感する日々。自治会の体制・運営・事務の仕組みが山川さんによってしっかりと固められました。長年自治会に尽力されたことには感謝しかありません」と話す。自治会で長く会計を務めた岡田正意さんは、「自ら制定した役員定年に従って会長を退かれましたが、知的にも体力的にも十分な能力を残しておられ、後進に様々なレガシーを与えて下さいました。会計事務を引き継ぎましたが、何で八十路を越えた人が、こんな複雑なExcel関数を使いこなしているの？ 何でこんな理路整然たる会計処理ができるの？ と思いついて生きていることの意味は何」という永遠の疑問に、山川さんなり

の考えを示してくれたものだと考えています」と追悼の言葉を寄せている。

防災への備えについて
ご協力をお願い

先日の大分県での大規模火災も記憶に新しいところです。

風速15mの強風下という厳しい気象条件ゆえの大規模火災でしたが、これから冬に向かい、空気が乾燥しやすくなります。

日々のちょっとした心がけが、大きな事故の予防につながります。以下の点にご留意いただき、防災への備えをお願いいたします。

- ・ゴミ出しのルールの遵守
- ・風の強い日は特に、飛散防止のため袋をしっかりと縛るなどご配慮ください。
- ・家の周囲の可燃物の整理整頓
- ・乾燥による火の取り扱いへの注意（暖房器具、喫煙、火気の使用など）
- ・地域内で気になる点を見かけた場合の、早めの声掛け・共有
- ・皆さまのご協力が、安全で安心な学園町の維持につながります。

年末年始の資源物
集回収にご協力を

新聞紙、雑誌、本類、段ボール、古紙、アルミ缶、古着・布を回収します。回収日：12月15日（月）1月5日（月）、1月19日（月）
◆12月29日（月）の回収はありません！



今年は外に出る機会が多かったせいか紅葉を沢山感じることができました。遠出をしなくても学園町付近には沢山の木々があるのが良い所です。

先日、自由学園緑ヶ丘校舎でイベントがありました。参加されましたか。その時、チューリップの球根植えがあり、参加した子供達に風船を配りました。フロアラルライフでは花と一緒にバルーンを送ることもしているので今回、お手伝いをしました。

子供さんたちにとっても人気でした。ふわふわ浮かぶ風船はやはりわくわくします。私も子供の頃好きだった記憶があります。

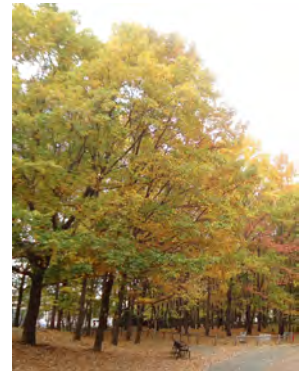
バルーンには大きく分けてラ

花だより④

バルーンでわくわく
パーティーの
飾り付けにいかが



立川まり



テックス（ゴム系）のものとアルミ系のものがあります。また、膨らまし方も空気を入れる方法、ヘリウムガスで膨らます方法とあります。ゴム系のものは割と安価ですが空気が抜けやすく、アルミのものはそれに比べて長く持ちます。今回のように浮かぶ風船は空気より軽いヘリウムガスを入れるわけですがゴム風船だと数時間、アルミだと数日、長いものだと3週間近く浮かびます。ヘリウムガスはAmazonなどでも購入可能で、バルーン1個程度を膨らませるものから、今回のように沢山膨らませるものまであります。多くは海外からの輸入のため年々価格は高騰して、時々品薄にもなりま

部屋に飾り付けをしたりする場合、飛ばす必要がないので空気です。十分ですので用途によって選んでいただければと思います。これからクリスマスなどパーティーの飾り付けにもいかがでしょうか。

まり
(フロアラルライフ) 立川
042-423-8646

学園町誕生100周年 記念イベントのご案内

★クリスマスコンサート（主催学園町自治会）

日時：12月20日（土曜日）

○午前の部「子供コンサート」

10時～11時。場所：自由学園みらいかん。参加費無料（先着30組）既に定員に達したため、キャンセル待ちとなります。

○午後の部「クリスマスコンサート」
14時～15時30分（開場13時30分）。場所：自由学園記念講堂
出演者：山澤慧、花岡沙季、原田ひかり。参加費無料。お申し込みはこちらのQRコードから

★講演会「第3次世界大戦を防ぐためにー海外の取材現場よりー」
主催：学園町自治会、自由学園

日時：2026年1月10日（土曜日）14時～16時。会場：自由学園

記念講堂。講演者：秋田浩之（日本経済新聞社コメンテーター）。参加費無料（高校生、大学生歓迎）お申し込みはこちらのQRコードから



おしらせ

《南部地域センター》

※各イベント問い合わせは南部地域センター（指定管理者（株）セイウン） ☎ 042-451-2021
Mail: higashikurume_nanbu@s-seiun.jp

※4館合同イベント

★みんなでアート2025
今年も4館（市民プラザ・西部・東部・南部の各地域センター）で、『東久留米クリスマスオーナメント』を大募集！

あなたの作ったオーナメントでクリスマスを楽しみ上げましょう。レッツゴー！
・募集：12月24日（水）まで
・展示：12月26日（金）まで（最終日は、17時まで）

・展示・募集場所は、上記4館
※南部地域センターイベント

★シニアヨガ

ヨガを始めるのに年齢や性別は関係ありません。今の自分を受け入れ、自分のヨガをみつけましょう。

・12月12日（金）・12月26日（金）
・1月9日（金）・1月23日（金）
1部 10:00～11:00
2部 11:30～12:30

・会場：2階和室
・定員：各回6名
・参加費：700円（当日払い）
・対象：65歳以上男性も大歓迎！

・持ち物：ヨガマット・水分補給
動きやすい服装・厚手のバスタオル・汗拭きタオル
・講師：ヨガインストラクター

AZUSA

★尺八で奏でるクリスマスソング

・12月14日（日）14:00～60分程度

・会場：1階ロビー

・曲目：きよしこの夜、アベマリア、雪の花、ひえつき節 etc

・演奏：神藤 毅

★お宝いっぱい！まあぶるミニバザー

地域の皆様よりご提供いただいた洋服・食器類・雑貨・書籍等をお手頃価格で販売します。ぜひお越しください。掘り出し物がきっとみつかるよ！バザーの収益は、全額当障がい者施設利用者の工賃として活用させていただきます。

・12月16日（火）・1月20日（火）13:30～15:30

・会場：ピロティ

・問合せ：（社福）すぎのこ まあぶる ☎ 042-473-5896

★南部野菜市

無農薬の新鮮な野菜・果物を地域の皆様に提供販売します。お寄りください。

・12月16日（火）・12月23日（火）・1月9日（金）・1月23日（金）

・12月16日（火）・12月26日（火）・1月6日（火）・1月13日（火）・1月20日（火）

1月27日（火）・2月3日（火）

・2月10日（火）

・会場：ピロティ 9:30～11:30

・強力：（株）グループ

★介護予防・きくちゃんの脳トレ体操

高齢者の皆様が健康で日常生活を前向きに過ごしていただけるように言葉を使っての脳トレや体操で認知症、フレイルを予防しよう！

・12月21日（日）・1月18日（日）

・2月1日（日）10:00～12:00

・会場：地区センター集会所

・定員：20名・参加費：300円

・持ち物：タオル・筆記用具

★バクさんとうたおう！

・12月21日（日）・1月25日（日）

開場：13:15 開演 13:30～

・会場：2階講習室

・参加費 500円

★なんぶおしゃべりサロン

なんでも自由に話し合い、そして他人の話を聞きましょう！ざっくばらんなおしゃべりで心のコリをほぐしましょう！どなたでも自由に参加下さい。

・1月11日（日）・2月1日（日）13:30～15:30

・会場：地下1階音楽室

・参加費 100円・定員 10名

《自由学園》

■幼児生活団幼稚園
2才児プレイベント

「オリジナル帽子を作ろう！」

○日程：12月16日（火）、17日（水）

○時間：9:30～11:00

○対象：プレ幼稚園を検討中の方

WEBにてお申し込みください。

詳細は幼稚園HPからお願いします。

https://www.jiyu.ac.jp/kindergarten/

■自由学園こっこ広場

0,1,2才のお子さんと、お母さん、お父さんのための子育て広場です。

詳細はこっこ広場HPからお願いします。

http://www.jiyu.ac.jp/cocco/

■U12こども広場

楽しいワークショップをご用意してお待ちしています！

○日時：2026年1月31日（土）10:00～13:00（予定）

○対象：0才～小学校低学年のお子様のいるご家庭

詳細決まりましたら、幼稚園・初等部のHPでお知らせします。

※上記催しについて、詳細は自由学園のホームページに掲載しております。

※お問合せ先：自由学園広報室

TEL:042-428-2122

e-mail: kh@jiyu.ac.jp

URL: https://www.jiyu.ac.jp